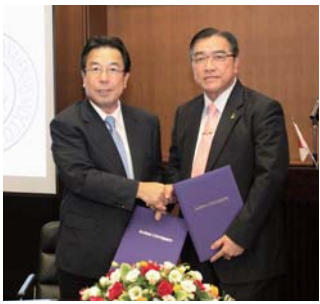


タイ王国司法府と協力基本協定を締結

関西大学とタイ王国司法府(司法裁判所)は、協力基本協定を締結した。7月16日、楠見晴重学長とタイ王国司法府のウィラット・チンウィニクン事務総長らが出席し、調印式を執り行った。



タイ王国司法府のウィラット・チンウィニクン事務総長(右)と握手を交わす楠見晴重学長

この協力基本協定は、共同研究やタイ王国裁判官および裁判所職員の本学での研修受け入れを通じて交流を促進することを目的とするもので、本学にとって初めての海外公的機関との協定になる。

関西大学とタイ王国司法府は、本学マイノリティ研究センターでタイ王国の裁判官・裁判所職員対象研修セミナーを昨年から実施し、本学教員がタイ王国司法府で講演を行うなどの交流実績がある。



タイ王国の理科教員が関大一中・一高で研修

タイ王国の理科教員31人が6月15日、日本における最新の教育事情を学ぶために、関西大学第一中学校・第一高等学校を訪れた。今回来校したのは、タイ王国の地方教育機関に所属する小学校、中学校および高校の教員で、中学校の理科、高校の生物と化学の授業を参観した。

午後からの意見交換会では、関大一中・一高の教育システムや理科のカリキュラム・指導法について多くの質問が寄せられるとともに、本校からはタイの授業内容について質問が出るなど、活発な質疑応答が行われた。



この研修会が国際化時代に対応した教育や、授業方法の研究・改善を考える機会になり、双方にとって実り多い会となった。

◀ 関大一中・一高の授業を参観するタイ王国の理科教員たち

本年4月開校の関西大学中部部・高等部で
 ホワ・チョン校中国民族楽団が公演・交流



高槻ミュージックキャンパスで関西大学中部部・高等部が6月15日、シンガポールのホワ・チョン校中国民族楽団(Hwa Chong Institution Chinese Orchestra)の公演会と交流会を実施した。1919年設立の同校は、勉学のみならず芸術の分野にも秀でた伝統校で、同楽団は数々の大会で輝かしい実績を残してきた。

北館アリーナで行われた公演会に参加した中部部・高等部の生徒、保護者、教職員らは、オーケストラによる中国の民族楽器を用いた独創的な素晴らしい演奏に聴き入り、アンコールでは「ウィリアム・テル序曲」のリズムに合わせて、大きな手拍子で公演を締めくくり、大いに盛り上がった。演奏会後のレセプションでは、中部部・高等部の生徒が琴や剣道、篠笛といった日本の伝統芸能を披露し、折り紙を一緒に行うなど、双方の交流を深めた。



高等部では、今春入学した生徒が2年次生になる次年度、海外研修旅行としてシンガポールの同校を訪問する予定。両校が相互に訪問し交流することで、一層の国際理解につながることが期待される。

関大一高サッカー部からプロサッカー選手に

関西大学第一高等学校3年生で、サッカー部所属の梅鉢貴秀うめばたたかひでさんが、鹿島アントラーズの2011シーズン新加入選手に内定した。



同校サッカー部の佐野友章監督は「昨年の選手権までは脚光を浴びることがなかった彼ですが、いつも真面目にサッカーに取り組んでいました。強い気持ちと謙虚さを持った選手です。プロの世界は、想像を絶するほど厳しいでしょう。でも想像を絶する楽しさや充実感もあるでしょう。2014年W杯を目指せる選手になってください」とエールを送っている。

同校サッカー部は1951年創部で、部員数68人。本年1月の第88回全国高校サッカー選手権大会では、「月まで走れ!」を合言葉に快進撃を続け、並み居る強豪校を破ってベスト4に輝いた。